

目標の進捗状況報告書

(2013年度・大学)

担当部局は ☆印の箇所を記入してください。

I. 評価項目・要素と担当部局

本シートでの自己点検・評価を行う部局と項目・要素は次のとおりである。

対象部局	総合支援センター(学生活動支援機構)
大項目	11 教員・教員組織
中項目	
小項目	11.0.2 学部・研究科等の教育課程に相応しい教員組織を整備しているか。
要素	編制方針に沿った教員組織の整備 授業科目と担当教員の適合性を判断する仕組みの整備 研究科担当教員の資格の明確化と適正配置(院・専院)
小項目	11.0.3 教員の募集・採用・昇格は適切に行われているか。
要素	教員の募集・採用・昇格等に関する規程および手続きの明確化 規程等に従った適切な教員人事
小項目	11.0.4 教員の資質の向上を図るための方策を講じているか。
要素	教員の教育研究活動等の評価の実施 ファカルティ・ディベロップメント(FD)の実施状況と有効性

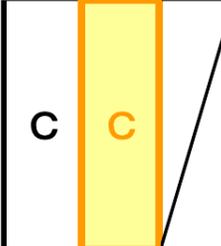
II. 目標の進捗状況評価と進捗状況報告(2013.4.30現在の進捗状況報告)

《進捗状況評価》

本項目において、2009年度～2013年度の中期的な「目標」と「指標」を次のとおり設定し、毎年度進捗状況の自己評価を行っている。進捗状況評価はA、B、C、Dの4段階とし、2013年4月30日現在における目標の達成度評価(2013年度の達成に対してどこまで進んだかの評価)を行った。A、B、C、D評価は目安として次のようなものである。

- A : 目標実現のための計画や方策などを適切に実行し、目標を達成している。もしくはほぼ達成している。
- B : 目標実現のための計画や方策などを概ね適切に実行しているが、まだ目標は達成していない。
- C : 目標実現のための計画や方策などを実行しているが十分ではなく、目標は達成していない。達成にはまだしばらく時間がかかる。
- D : 目標実現のための計画や方策などを実行していない。当然目標は達成していない。

2011年度に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗状況評価		
		2011	2012	2013
1. 2012年度までにコーディネータ(期限付契約職員)を2人増員する。	コーディネータの計画人員確保の状況 評価基準: A→2人 B→1人 C→評価基準なし D→0人	B	A	
2. 2012年度までにカウンセラー(嘱託職員)を2人増員する。	カウンセラーの計画人員確保の状況 評価基準: A→2人 B→1人 C→評価基準なし D→0人	A	A	
3. カウンセラー、コーディネータの技能や資質向上のため、学会や学外の研修会に一人年1回以上参加する。	学会または研修会に年一回以上参加したカウンセラー、コーディネータの人数 評価基準: A→全員 B→8割以上10割未満の人数 C→6割以上8割未満の人数 D→6割未満の人数 ※8割、6割などの人数は、総数に8割もしくは6割を掛け、小数点第1位を四捨五入した人数を基準とする。 例えば、総数が11人の場合、11人×0.6=6.6人。6割以上は7人以上、6割未満は7人未満。	B	B	
4. 学生支援相談室とキャンパス自立支援室で、それぞれ毎月1回『事例検討会』を実施する。	各室とも『事例検討会』を実施した月数 評価基準: A→10ヶ月以上 B→7～9ヶ月 C→5～6ヶ月 D→4ヶ月以下	B	B	

5. 総合支援センター全構成員による『総合支援センター連絡会』を年10回以上実施する。	『総合支援センター連絡会』の開催回数 評価基準： A→10回以上 B→7～9回 C→5～6回 D→4回以下	
---	--	---

2012年度以降に設定した「目標」	左記目標の「指標」	<table border="1"> <thead> <tr> <th>2011</th> <th>2012</th> <th>2013</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>/</td> <td>/</td> <td>/</td> </tr> <tr> <td>/</td> <td>/</td> <td>/</td> </tr> </tbody> </table>	2011	2012	2013	/	/	/	/	/	/
2011	2012	2013									
/	/	/									
/	/	/									
	→										
	→										

《進捗状況》 ☆

目標の進捗状況について次のとおり簡単に説明する。

目標1	2013年4月1日からコーディネータ（期限付契約職員）2名を採用することが出来た（増員2名完了）。これにより西宮上ヶ原キャンパスに2名、神戸三田キャンパスに2名のコーディネータを配置することができた。
目標2	カウンセラー（嘱託職員）増員計画に基づき、2012年度は2名採用することが出来た。これにより、西宮上ヶ原キャンパスに5名、神戸三田キャンパスに2名、西宮聖和キャンパスに1名のカウンセラーの配置をおこなっている。（なお、カウンセラーは週4日、28時間勤務の契約）
目標3	カウンセラーには、日本学生相談学会、日本心理臨床学会、近畿学生相談研究会、日本行動療法学会等々の研究会や学会にほぼ全員が参加することができた。（87%）また、コーディネータは日本学生支援機構やPEPNet-Japanが主催する研修会に参加することができた。
目標4	日常の様々な事例に関する相談会として、総合支援センター委員が参加する「学生支援相談室事例検討会」「キャンパス自立支援室事例検討会」を毎月実施し、カウンセラーやコーディネータに指導助言を行なっているが、8月、2月、3月は実施しなかった。
目標5	総合支援センター連絡会は2012年度計6回実施した。連絡会では、障がい学生支援に関する様々な支援について相談したり、新しい計画について協議・決定を行なっている。また学生支援相談室の利用状況、その他学生支援相談室が企画する事業の報告を中心に行なっている。
備考	